

I. 活断層で発生する地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 平成23年(2011年)1月1日)

	2010年1月1日時点の評価	2011年1月1日時点の評価		2010年1月1日時点の評価	2011年1月1日時点の評価
熊本-宮城			別府-万年山(別府湾-日出生/東郡)		
30年	0-5%	0-6%	100年	0-0.004%	0-0.005%
中央構造線(金剛山地東縁-和泉山脈南縁)			300年	0.01-0.7%	0.01-0.8%
30年	0-5%	0-6%			

※活断層評価備考
ここに掲載しているものは、再計算の結果、発生確率値の表記に変更のあったもの。

II. 海溝型地震の発生確率値の更新前後の比較(算定基準日 平成23年(2011年)1月1日)

	2010年1月1日時点の評価	2011年1月1日時点の評価		2010年1月1日時点の評価	2011年1月1日時点の評価
相模トラフ			日本海溝東部		
大正型			北海道北西沖		
平均発生間隔	200-400年		平均発生間隔	3900年	
ばらつきα	0.17-0.24		ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.22-0.43	0.22-0.44	経過率	2100年(0.54)は概数なので更新せず	
10年	ほぼ0%-0.1%	ほぼ0%-0.1%	10年	0.002%-0.04%	0.002%-0.04%
20年	ほぼ0%-0.5%	ほぼ0%-0.5%	20年	0.004%-0.07%	0.004%-0.07%
30年	ほぼ0%-1%	ほぼ0%-2%	30年	0.006%-0.1%	0.006%-0.1%
40年	ほぼ0%-3%	ほぼ0%-4%	40年	0.008%-0.2%	0.008%-0.2%
50年	ほぼ0%-7%	ほぼ0%-7%	50年	0.01%-0.2%	0.01%-0.2%
100年		ほぼ0%-40%	100年		0.03%-0.4%
300年		50%-90%程度以上	300年		0.2%-2%
元禄型			北海道西方沖		
平均発生間隔	2300年		平均発生間隔	1400-3900年	
ばらつきα	0.17-0.24		ばらつきα	0.17-0.24	
経過率	0.13	0.13	経過率	0.02-0.05	0.02-0.05
10年	ほぼ0%	ほぼ0%	10年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	ほぼ0%	ほぼ0%	20年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	ほぼ0%	ほぼ0%	30年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	ほぼ0%	ほぼ0%	40年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	ほぼ0%	ほぼ0%	50年	ほぼ0%	ほぼ0%
100年		ほぼ0%	100年		ほぼ0%
300年		ほぼ0%	300年		ほぼ0%
南海トラフ			北海道南西沖		
南海地震			平均発生間隔	500-1400年	
平均発生間隔	次の地震90.1年(平均:114.0年)		ばらつきα	0.17-0.24	
ばらつきα	0.20-0.24		経過率	0.01-0.03	0.01-0.03
経過率	0.70	0.71	10年	ほぼ0%	ほぼ0%
10年	10%-20%	10%-20%	20年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	30%-40%	40%程度	30年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	60%程度	60%程度	40年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	70%-80%	70%-80%	50年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	80%-90%	90%程度	100年		ほぼ0%
100年		90%程度以上	300年		ほぼ0%-4%
300年		90%程度以上	青森県西方沖		
東南海地震			平均発生間隔	500-1400年	
平均発生間隔	次の地震86.4年(平均111.6年)		ばらつきα	0.17-0.24	
ばらつきα	0.18-0.24		経過率	0.02-0.05	0.02-0.06
経過率	0.75	0.76	10年	ほぼ0%	ほぼ0%
10年	20%程度	20%程度	20年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	40%-50%	50%程度	30年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	60%-70%	70%程度	40年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	80%-90%	80%-90%	50年	ほぼ0%	ほぼ0%
50年	90%程度以上	90%程度もしくはそれ以上	100年		ほぼ0%
100年		90%程度以上	300年		ほぼ0%-5%
300年		90%程度以上	山形県沖		
三陸沖から房総沖			平均発生間隔	1000年以上	
三陸沖北部			ばらつきα	0.17-0.24	
平均発生間隔	97.0年		経過率	0.18以下	0.18以下
ばらつきα	0.11-0.24		10年	ほぼ0%	ほぼ0%
経過率	0.43	0.44	20年	ほぼ0%	ほぼ0%
10年	ほぼ0%-0.5%	ほぼ0%-0.6%	30年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	0.002%-4%	0.004%-4%	40年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	8%-10%	8.5%-10%	50年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	8%-30%	8%-30%	100年		ほぼ0%
50年	30%-50%	40%-50%	300年		ほぼ0%-0.1%
100年		90%程度以上	新潟県北部沖		
300年		90%程度以上	平均発生間隔	1000年以上	
三陸沖南部海溝寄り			ばらつきα	0.17-0.24	
平均発生間隔	104.5年(105年程度)		経過率	0.05以下	0.05以下
ばらつきα	0.19-0.24		10年	ほぼ0%	ほぼ0%
経過率	1.08	1.09	20年	ほぼ0%	ほぼ0%
10年	40%程度	40%程度	30年	ほぼ0%	ほぼ0%
20年	60%-70%	60%-70%	40年	ほぼ0%	ほぼ0%
30年	80%-90%	80%-90%	50年	ほぼ0%	ほぼ0%
40年	90%程度	90%程度もしくはそれ以上	100年		ほぼ0%
50年	90%-98%	90%程度もしくはそれ以上	300年		ほぼ0%
100年		90%程度以上	宮城県沖		
300年		90%程度以上	平均発生間隔	37.1年	
茨城県沖			ばらつきα	0.17	
平均発生間隔	21.2年		経過率	0.85	0.88
ばらつきα	0.16-0.24		10年	70%程度	70%程度
経過率	0.08	0.13	20年	90%程度以上	90%程度以上
10年	0.01%-0.8%	0.07%-2%	30年	99%	99%
20年	60%程度	70%程度	千葉県沖(1/2)		
30年	90%程度以上	90%程度以上	平均発生間隔	72.2年	
千葉県沖(1/2)			ばらつきα	0.24-0.32	
十勝沖			経過率	0.09	0.10
平均発生間隔	72.2年		10年	ほぼ0%	ほぼ0%
ばらつきα	0.24-0.32		20年	ほぼ0%-0.07%	0.002%-0.1%
経過率	0.09	0.10	30年	0.2%-2%	0.3%-2%
10年	ほぼ0%	ほぼ0%	40年	4%-10%	5%-10%
20年	ほぼ0%-0.07%	0.002%-0.1%	50年	20%-30%	20%-30%
30年	0.2%-2%	0.3%-2%	100年		90%程度もしくはそれ以上
40年	4%-10%	5%-10%	300年		90%程度以上
50年	20%-30%	20%-30%	根室沖		
100年		90%程度もしくはそれ以上	平均発生間隔	72.2年	
300年		90%程度以上	ばらつきα	0.24-0.32	
千葉県沖(2/2)			経過率	0.51	0.52
色丹島沖			10年	4%-9%	5%-10%
平均発生間隔	72.2年		20年	20%-30%	20%-30%
ばらつきα	0.24-0.32		30年	40%程度	40%-50%
経過率	0.56	0.57	40年	60%程度	60%-70%
10年	7%-10%	8%-10%	50年	80%程度	80%程度
20年	30%程度	30%程度	100年		90%程度以上
30年	50%程度	50%程度	300年		90%程度以上
40年	70%程度	70%程度	択捉島沖		
50年	80%-90%	80%-90%	平均発生間隔	72.2年	
100年		90%程度以上	ばらつきα	0.24-0.32	
300年		90%程度以上	経過率	0.64	0.65
			10年	10%-20%	20%程度
			20年	40%程度	40%程度
			30年	60%程度	60%程度
			40年	70%-80%	70%-80%
			50年	80%-90%	80%-90%
			100年		90%程度以上
			300年		90%程度以上

※海溝型地震備考
ここに掲載しているものは、再計算を行ったもの全て(100年以内、300年以内の確率値を含む)。
*黄色で示した箇所は、再計算の結果、表記に変更のあったもの。
*青字で示した箇所は、表記を分かりやすく改めたもの。
*宮城県沖は、評価文中で『これらを踏まえ、地震発生の可能性は、年々高まっており、今後20年程度以内(2020年頃まで)に次の地震が起こる可能性が高いと考えた。』として、30年以内より長期の発生確率の評価を行っていない。
*茨城県沖は、評価文中で『茨城県沖の一連の地震は、約20年程度(21.2年)の間隔で発生している。』として、30年以内より長期の発生確率の評価を行っていない。
*表記については、原則、有効数字1桁で表記しているが、一部、長期評価で示された値そのままの表記としているものもある。